令和7年度　古座川町立古座中学校　スクールプラン

古座川町学校教育目標

『心豊かに　たくましく羽ばたく
古座川っ子の育成』

○確かな学力を身に付けた子ども
○豊かな人間性を身につけた子ども
○健康で元気な子ども

保護者・地域の願い

○子どもの学力を定着させてほしい。
○安心・安全な学校づくりをしてほしい。
○思いやりのある子どもに育ってほしい。
○ふるさとに誇りをもってほしい。
○学校との関わりを深めたい。

【学校教育目標】

「お互いを大切にし、共によりよく考え、進んで行動する古座中生！」

【目指す生徒像】
○お互いを大切にし、誰とでも力を合わせてより良い解決策を考える生徒
○広く世の中に目を向け、自分ができることをよく考え、行動できる生徒
○何事にも積極的に、粘り強く取り組める生徒

【目指す教師像】
○力量を高めるために絶えず新しいもの素晴らしいものを探究し、身につけていこうとする教師
○生徒理解に努め、一人ひとりを大切にする教師
○同僚性・協働性を大切にし、個性を発揮しながらも組織的に対応できる教師
○「親切・丁寧・誠実」をモットーに、保護者・地域に信頼される教師

【目指す学校像】
○子供たちみんなが「行きたい！」と思い、安心安全に過ごせる学校
○教師が生き甲斐や働き甲斐を感じながら勤められる学校
○保護者が「通わせたい」と思い、地域の方に愛される学校

前年度の学校評価

【成果】
○安心安全に過ごせる学校づくりを進めた。
○授業規律を見直し、わかる授業づくりを進めた。

【課題】
○主体的・探究的な学習になっていない。
○家庭学習習慣の定着に大きな課題がある。
○スマホ・ゲームの利用時間が多い。

生徒の実態

○明るく素直な生徒が多い。
○人なつっこく親近感が持てる。
○けじめがつけられない場面もあった。
○学習に粘り強く取り組めない生徒もいる。
○主体的に学習に取り組む態度の育成が急務である。
○お互いを大切にしようとする生徒が増えた。

「資質・能力」の育成

①探究的な学習に主体的協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする力の育成
②基礎学力が定着し、確かな学力を持つ生徒の育成
③主体的に学習に取り組むことのできる生徒の育成

①全学年で研究主題「探究的な学習の過程の研究」を踏まえた授業改善に取り組み、研究授業を行う。
①「和歌山の授業づくり基礎基本3か条」の徹底

②「毎日チャレンジ」等、ドリル学習を充実させる。
②マスター問題集・チャレンジ確認シート・復習用教材・eﾗｲﾌﾞﾗﾘの活用。
②長期休業中の補充学習。

③『学習プラザ』の充実。
③「家庭学習の手引き」の活用、自主学習ノートの推奨
③保護者と連携した「家庭学習チェックシート」の実施。
③キャリアパスポートを有効に活用しながら、学活等で学びとキャリア形成をつなげ、適切に支援していく。

＊校長による授業評価、「良好」　→　80％
＊県学習到達度調査で、県平均以上。
＊「授業はわかりやすい」肯定的回答　→９０％
＊「先生はわかるまで教えてくれる」肯定的回答　→９０％
＊宿題、自主学ノートの提出率　→100％
＊家庭学習1日1時間以上　→　60％
＊「家庭学習習慣が身についている」肯定的回答　→　60％

「豊かな心」「健やかな心身」の育成

①人権尊重、思いやる心・自己有用感の育成
②認め合い高め合える集団づくり
③基本的な生活習慣の確立
④どのように社会や生活をよりよいものにしていくかを考える力の育成

①②道徳・特別活動の充実、互いを大切にする集団づくり。
①②地域連携による自己有用感を味わう機会の充実。
①②体育祭・文化祭など学校行事の地域への開放・呼びかけ。
①②いじめの未然防止、早期発見、早期対応。
①②人権について考え、意見を述べる機会の充実。

③あいさつの奨励。
③「スマホ・TV・ゲーム」の時間の見直し。
③情報モラル教室の実施。
③保護者と連携した「生活ふり返りカード」の実施。

④生徒会による「より良い生活に向けての合意形成活動」の活性化

＊「学校は楽しい」の肯定的回答　→１００％
＊「自分には良いところがある」の肯定的回答　→８０％
＊いじめの解消率　→１００％
＊インターネット上でのトラブルをなくす　→１００％
＊「学習以外のスマホ利用・TV・ゲーム」2時間以内　→７０％
＊「スマホ・ゲーム利用の家族ルールを決めている」　→７０％
＊「お互いを大切にし、共によりよく考え、進んで行動できる」の肯定的回答　→９０％

信頼される学校づくり

①保小中連携の強化
②家庭・地域との連携
③地域に開かれた学校づくり

①中学校区小中連携交流会の充実
①古座川町教育会活動に積極的に参加し、連携を図る。

②登校時・下校時の交通安全指導。

②③体育祭・文化祭など学校行事の地域への開放・呼びかけ
②③地域行事への参加の推奨
②③「学校便り」「学級通信」「保健便り」などの発行。
②③学校ホームページの活用。
※学校の経営方針や教育活動、生徒の様子を地域に広く情報を発信し、共通認識を図る。

③マスコミ活用による学校の良さアピール。

保護者・学校運営協議会委員による学校評価で
＊「学校の様子がよくわかる」　→100％
＊「学校は生徒一人ひとりを大切にしている」　→90％
＊「住んでいる地域の行事に参加している」　→60％
＊「地域や社会をよくするために何かしてみたい」　→50％
教職員による不祥事ゼロ